

伐採及び伐採後の造林の届出書

届出日を記入します
伐採の30～90日前に届出します

令和 5年 3月 1日

新城市長 殿

届出者の住所氏名電話番号を記入します
伐採する方と造林する方が異なる場合は連名で記入します

届出人 住所 **新城市00字001-1**
氏名 **00 00**
電話 **090-1111-1111**

住所 **新城市△△字△△2-2**
氏名 **株式会社△△林業**
代表取締役 △△ △△
電話 **0536-11-1111**

2行目の空欄に立木の所有者の氏名を記入します
※所有者から委託された方が届出する場合は3行目の欄に記入します

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

本伐採は届出者である(のうち) 00 00 が所有する立木(又は長期受委託契約に基づき
が所有する立木)を伐採するものです。

1 森林の所在場所

伐採場所の所在地を記入します
入りきらない場合は「別紙のとおり」と記入して一覧を添付します

新城市 **00** 字 **00 1-1, 1-2, 1-3**
△△ 字 **△△ 2-1**

2 伐採及び伐採後造林の計画
別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

3 備考

森林法以外の法令により施業の制限がある場合はその種別を記載します

00国立公園普通地域

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採する者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合には、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。
- 3 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

(別添)

伐採計画書

伐採する方の住所氏名を記入します (届出人のうち、伐採する者の)

住所 **新城市△△字△△2-2**

氏名 **株式会社△△林業**

代表取締役 △△△△

伐採方法を選択します
【間伐】木の成長を促すため育ちの悪い木などを一部切ること
【主伐】一定の林齢になった木を木材として使うために切ること
└ 【主伐(択伐)】木を選んで一部切ること
└ 【主伐(皆伐)】対象地の木を全て切ること

伐採する面積と人工林・天然林の別を記入します
小数点以下第2位まで記入します(第3位四捨五入)

1 伐採の計画

伐採面積	0.20 ha (うち人工林 0.10 ha、天然林 0.10 ha)			伐採の割合を記入します ・間伐 40%以下 ・択伐(人工造林)40%以下 ・択伐(天然更新)30%以下
伐採方法	主伐(皆伐・ 択伐)・間伐	伐採率	30 %	
作業委託先	伐採の委託先を記入します。委託しない場合は空白にします			
伐採樹種	すぎ、ひのき、その他の広葉樹			
伐採齢	60(45~80)			伐採する木の林齢を記入します 「最も多い林齢」(「最も低い林齢」~「最も高い林齢」)
伐採の期間	令和 5 年 4 月 1 日~令和 6 年 1 月 31 日			
集材方法	集材路 ・架線・その他()			伐採した木材を搬出する方法を選択します ※間伐の場合は記入は不要です
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員	m	延長	m

2 備考

備考欄 (空欄)

注意事項

- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○~○)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。

記入例
※間伐の場合は提出は不要です

(別添)

造林計画書

造林する方の住所氏名を記入します

(届出人のうち、造林する者の)

住所 **新城市00字001-1**

氏名 **新城 太郎**

造林方法ごとに面積を記入します(伐採面積と同じ面積)
※転用の場合は記入は不要です
【人工造林】人の手を加えて森林をつくること
└【人工造林(植栽)】木を植えること
└【人工造林(播種)】種をまくこと
【天然更新】自然に生育させて森林をつくること
└【天然更新(下種)】自然に落ちた種が成長すること
└【天然更新(ぼう芽)】切り株から芽が出ること

1 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A+B+C+D)	0.20 ha
人工造林による面積 (A+B)	0.10 ha
植栽による面積 (A)	0.10 ha
人工播種による面積	ha
天然更新による面積 (C)	0.10 ha
ぼう芽更新による面積 (D)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他 () ・なし
造林の期間を記入します(以下は標準期間)	0.10 ha

天然更新時に補助作業を行う場合の方法を選択します
【地表処理】地面に積もった枝葉を整理したり土をかくこと
【刈出し】雑草などを刈ること
【植込み】天然更新できない所に植栽すること
【芽かき】いらぬ芽を取り除くこと

造林の期間を記入します(以下は標準期間)
・人工造林(皆伐) 伐採終了日の翌年度~2年以内
・人工造林(択伐) " ~5年以内
・天然更新 " ~5年以内
・5年後において~ " ~7年以内

植栽樹種を記入します(以下は標準樹種)
すぎ、ひのき、まつ類、
くぬぎ、やまぐり、こなら等有用広葉樹

植栽本数を記入します(以下は標準本数)
・すぎ、ひのき 2,500~5,000本/ha
・まつ類、広葉樹 3,000~4,500本/ha

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林 (植栽・人工播種)	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日	すぎ ひのき	0.05 ha 0.05 ha	150本 150本		獣害対策網
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日	こなら	0.10 ha			
5年後において 適確な更新が なされない場合	令和11年4月1日 ~ 令和13年3月31日	こなら	0.10 ha	300本		獣害対策網

造林の委託先を記入します
委託しない場合は空白にします

鳥獣害対策の方法を記入します
対策しない場合は空白にします

天然更新または森林以外の用途に供する予定の場合に、
5年後に計画通り更新できなかった時の植栽の計画を記入します

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

伐採後の跡地を森林以外の用途で使う場合に、その用途を記入します
例: 作業小屋の建設予定地(開始予定日:令和5年4月1日)など

2 備考

注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において
 - ・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林 又は
 - ・木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 3 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 4 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 5 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 6 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合のみ記載すること。